



# 触

Ragnarok  
onLine

# 手

ADULT ONLY

# 本

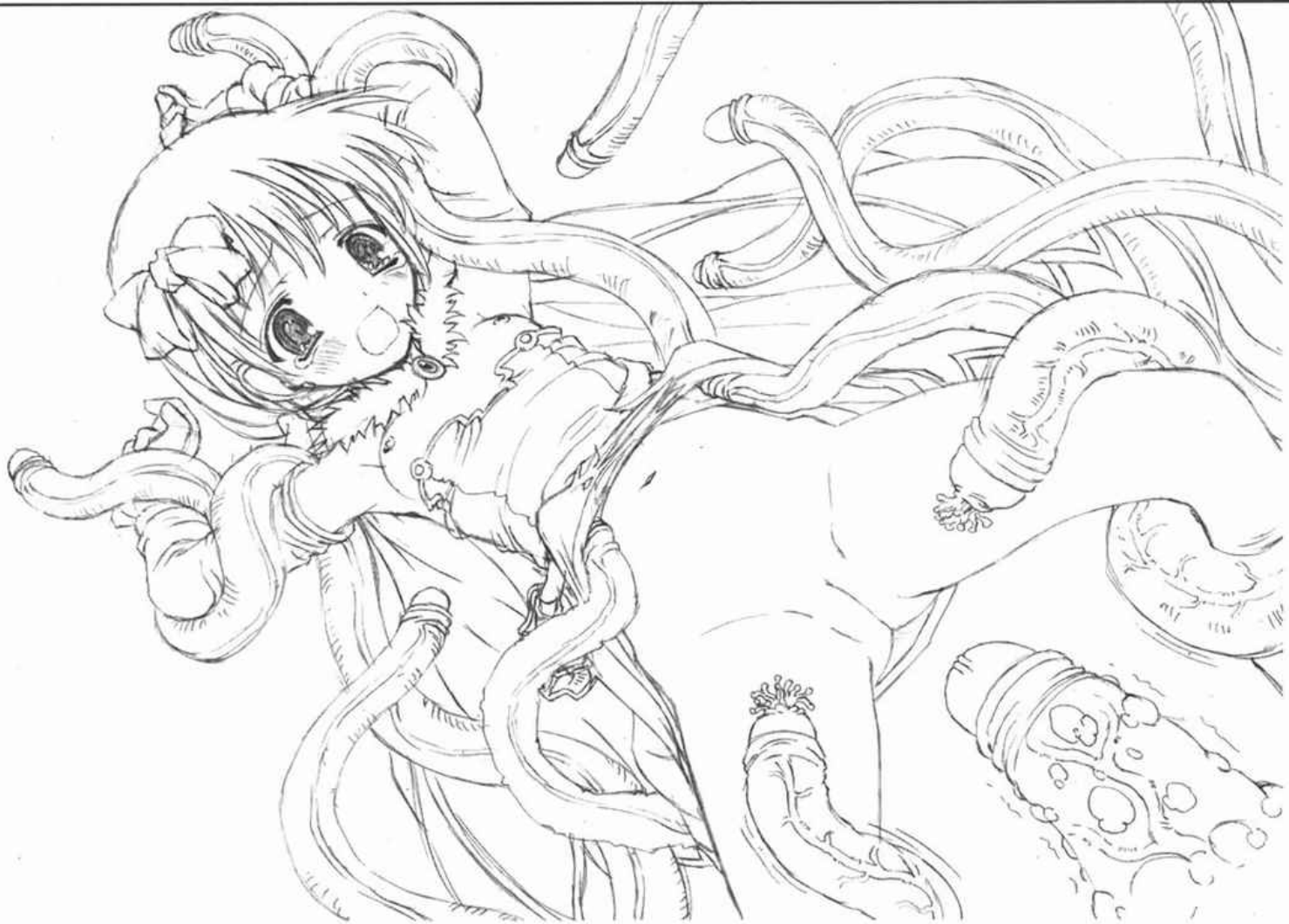
TESTA KITCHEN PRESENTS  
RAGNAROK ONLINE FANBOOK  
"5TH BOOK"

DATE OF ISSUE:01/29/2006  
"SUNSHINE CREATION"

この同人誌は成年向きですので  
18歳未満の方は見てはいけません



はじめましての方ははじめまして。こんにちはの方はこんにちは。てすたです。  
今回はラグナロクの子たちが触手に犯られちゃう本なのでした (><)  
…すいません、時間ないのでちゃっちゃと本文お楽しみください；；(・ω・)ツ

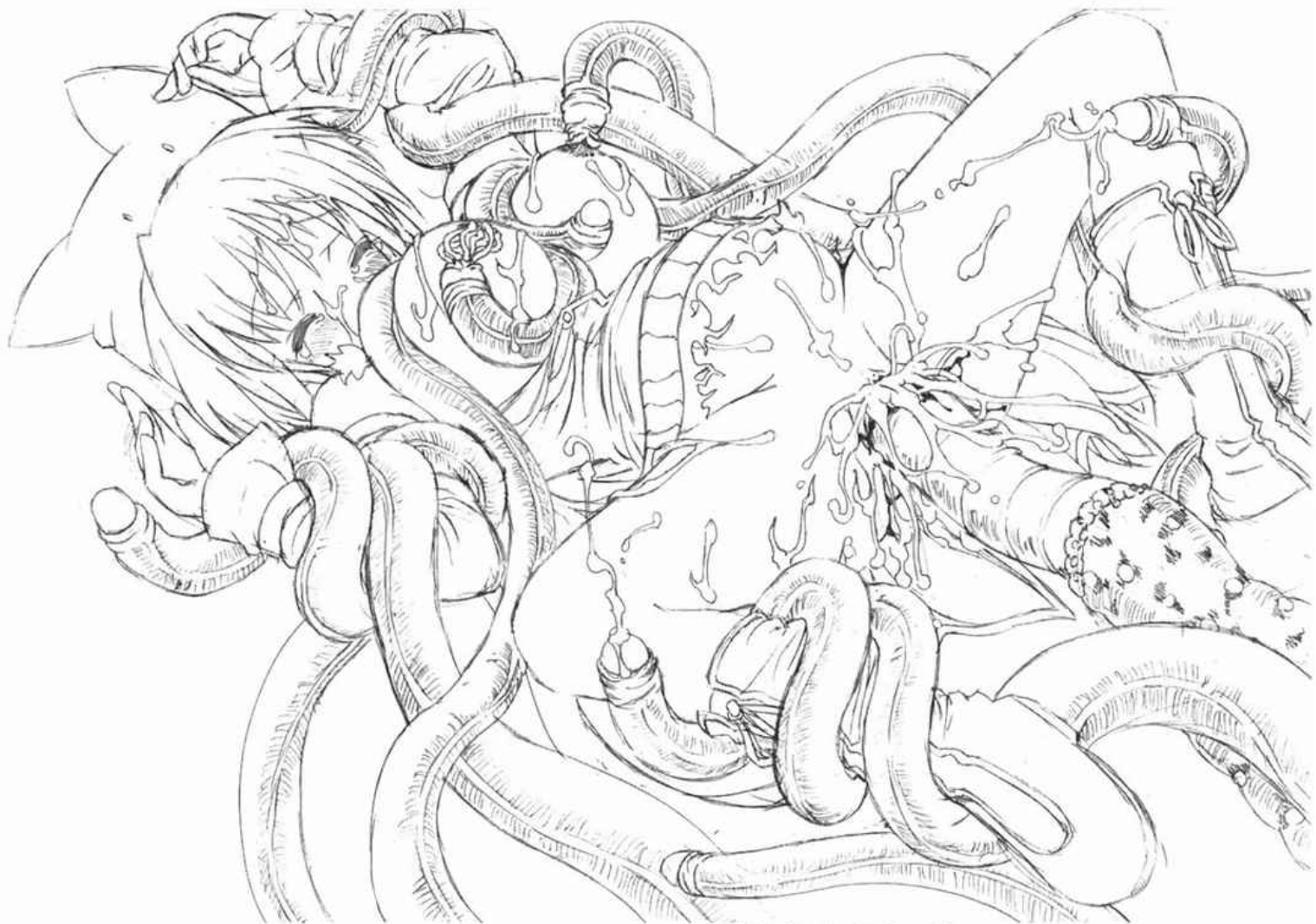


## ・ 託卵

人間の女、それもまだ男性を知らない  
—初潮さえ迎えていない—少女の胎内は  
この世界の触手生物にとって格好の  
「苗床」である。

自ら生殖器官を持たない触手生物は  
好んで少女を襲い、未成熟な子宮に  
彼女の意志などお構いなしに卵を産み付ける。





## ・残酷な破瓜

触手が好んで処女を襲うのは、直前まで襲われた少女が「自分が何をされているかわからない」ためである。

やがて残酷な破瓜を迎えた少女たちはようやく自分がされた行為の意味に気付くが、「はじめて」をおぞましい触手に奪われたショックで、その頃には彼女たちはもう抵抗する気力を失っている。



## ・穢れた種子

不定形生命体に襲われ  
直腸内に子種を産み付けられる  
ブラックミス

やがて腸の粘膜と同化した子種は、  
宿主の意思と無関係に直接直腸を刺激し  
排泄行動を誘引、宿主の未消化の  
排泄物を摂取して成長する。





・ 触祭

触手たちにとって生殖は、その意志のない体に唯一宿った  
快樂にして娛樂。

少女の穴という穴を無造作に貪り、穢れた精液を吐き出すとき  
「獲物」が感じる絶望が、無上の悦び。



・嘲笑

知性皆無の触手にも相手の快・不快を感じ取る能力はあるらしい。彼らにとっては獲物の苦痛や嗚咽や絶望がこのうえない快楽を与えてくれるのだ。

今夜の「獲物」は高位聖職者、「ハイプリースト」。心優しく気高い彼女が、心を折られもはや抵抗すらあきらめたただの「性欲処理用精液便所」と化すまで陵辱する。





## ・ 愉悦

触手にとって陵辱する「獲物」が上げる悲鳴や嗚咽は至高の悦楽である。好んで処女を陵辱し、その一彼女にとっては最悪の一破瓜の反応を愉しみ、氣力を失った獲物の「反応」が悪くなると「うしろ」を犯し、新たな反応を愉しむ。

一通り反応を愉しみ、「産卵」する頃にはたいてい獲物は「壊れて」いる。

輝きの消えた虚ろな目で、たまの気まぐれで膣内を陵辱する触手から得られる快樂に小さく声を上げるだけの「理想的なおもちゃ」に成り下がる。

恋も知らないまま触手に陵辱されて孕まされ、ただ一方的に快樂を引き出させられるだけのそんなマジシャンの少女の、意志のないはずの目元に光った涙は「最後の抵抗」だった。







高い防御力を誇る騎士であろうと「拘束して獲物を襲う」  
触手相手にはまるで無力なのだ。



・鑑賞

時には触手も、捕らえた獲物をすぐに「賞味」せず、拘束したまましばらくそのままにしていることもある。



無論、憐憫などではなく、  
恐怖に駆られた獲物の反応を  
愉しむためである。



## 襲撃

雌の匂いをかぎつけた触手に  
なす術もなく捉われる  
アサシクロスの少女

絶大な破壊力を持つスキル  
「ソウルブレイカー」もこの近距離では  
発動する隙も与えてはもらえない

自分の腕より太い触手が  
ただ生殖のためだけに…  
まだ女性の徴も未経験の少女の  
小さな膣口に何の容赦もなく  
潜り込む

自分のそこに、熱い鉄を  
流し込まれるような痛みとともに  
悲鳴を上げる少女

けれど彼女の絶望は、まだ  
はじまったばかり



・破戒

知性のない触手に悲鳴も嗚咽も哀願も通じるわけではない。

欲望を充たすことのみが目的の触手にとって陵辱時の「快樂」を求めるあまり時には宿主を「破壊」するほど大量の触手と精液を挿入することも…。



おなか…  
やぶ…け…

こわれちゃうよお!

ひあ!  
いたああいつ!

・逃避

残酷な破瓜、己の快樂を追及することだけが目的の陵辱、  
そして最後に待つのはおぞましい生物の  
卵を孕む運命…

それを悟ったものが自ら「壊れた」  
ことを責められるだろうか。

そしてこのハンターの少女もまた  
その一人。



ぐあ、

はあ、

あづ…

あ…あ

自分の腕ほどもある生殖器で  
胎内をかき回され、  
かすかな声を上げる彼女の瞳から  
最後の光が今、消える…

はあ、

あづ

あ…

ひゅく

はあ

# ・ 囊

手も足も、いまや自由に動かせる  
部位はどこにもなかった  
体中をべとべとした粘膜で  
覆われた触手が這い回る

もう何度目かしらぬ射精が  
行われ、それまでも  
膨れ上がっていたアサシンの  
少女の腹が、  
精液を流し込まれ  
さらに丸く膨れた。

無抵抗の少女の体内に  
ひたすら欲望を  
吐き出し続ける触手の横で  
次の触手がつぎに「囊」が  
あくのを待っていた…





## ・卵

半透明の産卵管からは体内に入ってくる卵の動きが透けて見えた…それは…



…それはすなわち、  
彼女たちの身体に  
何が起きているか  
知りたくもない事実を  
知ってしまうと言う  
事だった…

# ・ 屈服

魔法が使える隙さえあれば  
造作もない相手だった  
かもしれない

けれどいまの  
ウィザードの娘は  
触手の性欲処理道具に  
すぎなかった…



ぐわ

ぐら

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ



# ・終劇

もう何度その穢らわしい子種を  
体内に放たれたのだろう？  
セージの少女にも、それは覚えて  
いないほどだった  
一度も男性を受け入れたことの  
ないその身体も今は…



はっ

がるー

ぶらり!

ただ弄ばれるだけ

糸の切れた  
玩具の人形  
のように…

ぐすっ

げほ

がる、

きはあ

んせ

おろろ...

**おろろ**  
**せせせ**

んせ...

んせ



というわけで「触祭04」で出した「ラグナロクの♀キャラ触手陵辱本」を再発行しようと思ったのですが正直コピー誌であるページ数することを脳が拒否したのでオフセにしたわけですが時間はいっぱいあったはずなのに気がついてみると予定(ペン要れとかトーン描けとか)の半分もやりたいことができないまま終わってしまいました；；

いつかまたりべんじしたいとはおもうのですが…

時間がないので解説はこれにて

てかマジで本気でまったく時間ないお；；



はーっ

うんぬん!

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

はーっ

今回の本の「趣旨」と  
ちょっと違うため  
こっち(巻末)に  
置いておきますね

「非陵辱」な触手も  
描いてみたいと  
思うのですが...

あー

ヒ  
チ

ア



時間がないのです；；；  
こんな無様な最終ページで  
ごめんなさい；；

おくつけ：  
「触手本」  
発行のてすた厨房/てすた (siren@paw.hi-ho.ne.jp)  
2009年1月29日発行(予定一回)

印刷所：ねこのしっぽ様

取り扱い注意：16歳未満鑑賞禁止禁無断転載無断アップロード

WEB：てすた厨房 (<http://kitchensakura.ne.jp/>)



NEXT ISSUE...  
HIGH PRIEST FAN BOOK